

優 秀 賞

宮城県土木部仙台土木事務所

せんせき たがじょう

仙石線多賀城地区連続立体交差事業

都 市 名 宮城県 多賀城市 事業主体 宮城県

事業概要

本事業は、JR仙石線の多賀城駅付近約1.8km（複線）を高架化し、多賀城駅に2面3線の旅客ホーム及び高架下駅舎を新設する事業である。交差幹線道路は、都市計画道路5箇所、市道4箇所の計9箇所、除却踏切は4箇所である。

仙石線を挟んで市の中心部が南北に分断され、良好な市街地形成や社会活動の大きな阻害要因になっていた上、駅周辺では踏切を起因とした交通渋滞が著しく、朝の通勤・通学の車両や学生等歩行者の支障となっていた。

本事業により、4踏切の解消による交通渋滞の緩和や踏切事故の解消が図られるとともに、駅周辺交通の円滑化や利便性の向上が実現した。また、中心市街地の分断が解消され、本事業と並行して多賀城市が進める多賀城駅周辺土地区画整理事業等とも連動し、魅力ある「まちづくり」の促進につながった。

- 事業延長：約1.8km
- 幅 員：高架部 9.86m～13.60m（駅部 約22m）
- 事業費：約124億円
- 事業期間：平成16年度～平成26年度

表彰理由

本事業により中心市街地の分断が解消されるとともに、踏切除却による周辺交通の円滑化や、高架下利用による利便性向上が図られたことが高く評価された。

また、本事業にあわせて駅前広場や図書館、福祉施設が整備されるなど、駅周辺のまちづくりに貢献したことが評価された。

